

第9期(2020年度)事業報告書

2020年5月 1日から

2021年4月30日まで

2021年6月8日

公益財団法人 小柳財団

1. 2020年度の概況

(1) 2020年は、新型コロナウイルスの影響があり、研究者の申請期間や研究対象期間を延長しました。募集期間を2ヶ月から3ヶ月にし、研究対象期間を2021年4月から2022年3月を2022年9月までとし、研究作業の遅延も考慮して6ヶ月間の延長をしました。2019年度に助成した研究者も同様に研究対象期間を6ヶ月延長としました。

2020年度の事業活動の収入は株式配当金が53,360,000円となりました。交付件数は44件で前年より2件増加しました。応募案件は2019年度の94件から、2020年度は119件と応募件数が25件と増加しました。新型コロナウイルスの影響を加味して、研究助成金の公募を6月1日から開始を1ヶ月早め5月1日から開始しました。事業の内容に一致する案件が多く、研究助成金の交付は計画では43件でしたが1件多い44件となりました。

新型コロナウイルスの影響は研究者だけでなく、事務局の運営にも影響があり、今後のことも考慮してノートパソコンを購入してリモートワークが出来るように環境整備を行いました。

本財団の課題として、知名度は徐々に上がって来てはいますが、応募件数が毎年100件になるように今後も無料のニュースリリースサイトや、当財団のホームページ等の活用をしながらコストのかからない方法を検討をし、財団の知名度アップの広報活動を継続してまいります。

2. 財団の収支について

収益としては、株式配当金が昨年と同様の53,360,000円となりました。

費用面では、公益事業で50,478,784円、法人会計で4,095,558円、合計54,574,342円となりました。

内訳は公益目的事業費が前年より3,021,466円、法人会計が651,221円の増加となりました。

共通事業費が前年より283,797円、助成金交付額が前年より2,000,000円の増加となり、公益目的事業の経常費用の増加の要因となっています。

主な増加の科目は、事業費では印刷製本費682,000円、研究助成金2,000,000円、共通費では給与が76,002円、地代家賃が194,760円、減価償却費が111,870円等です。管理費では役員報酬が90,000円給与114,076円、減価償却費86,130円、地代家賃168,380円、業務委託費117,158円等です。

収入面では株式配当金が前年と同じの40円となり、当年の公益目的事業の収入48,026,555円となり、そこから44,000,000円の研究助成金を交付しました。

財団の総費用は54,574,342円となり、当期経常増減額は1,211,746円のマイナスとなりました。

内訳でも、公益目的事業で2,452,229円のマイナス、法人会計で1,240,483円のプラスで、合計で1,211,746円のマイナスとなりました。

3. 公益目的事業について

2020年度も、生命科学に関する分野で、「人間の健康と美」を促進する研究で農林水産分野、食品分野、生物学分野の研究者及び研究機関に対して、研究助成金の募集実施と助成金交付を行い、また当財団の財団活動の情報公開のため下記の事項を実施致しました。

(1) 財団活動を本財団HPで広く情報を公開いたしました。

公開した情報は下記の通りです。

- ①研究助成金募集活動
- ②事業計画と収支予算
- ③決算報告(財務諸表等)
- ④事業報告等
- ⑤研究助成金交付実績
- ⑥研究業績集

(2) 2020年5月1日から2020年7月31日の間で、当財団HPでの公募と研究助成を支援する財団のHPに掲載しました。応募対象は国内の研究に対して公募を行い、119件の応募がありました。選考委員各個人が選考作業(応募書類の確認、採点等)を行い、その結果を選考委員会にて全員で審議・検討を行い、全件に順位付けをし、この中から上位44件に絞り込む作業を行いました。その後、交付内定先の44件について理事会に上申し、2020年9月23日開催の理事会にて承認決定となりました。

(3) 2020年9月25日より全応募者に対して、選考結果の通知(採択と不採択)を投函し、内定の44件に対しては、選考結果の通知書と第2次提出書類も一緒に発送いたしました。第2次提出書類の到着後、内定先から寄附申込書等の依頼があり、依頼都度作成し郵送にて提出を行いました。第2次提出書類は11月末日の提出になっており、この第2次提出書類をもって助成金交付先を確定しました。その後、財団の事務局と交付内定先の所属機関とやり取りをしながら進めました。研究助成金の交付は2021年2月に44件全額を振込をし、その後第3次提出書類を送付し、助成金受領書等の書類の受取を行い、2020年度の研究助成金の交付は完了しました。交付件数44件で4,400万円の研究助成金を交付しました。助成金の交付実績は下記に記載した「2021年度研究助成金交付実績」のとおりです。

2020年度研究助成金交付実績 五十音順・敬称略
(対象研究期間:2021年4月～2022年3月)

研究者氏名	所属機関名	研究テーマ	助成額 (千円)
1 アザワ カキ 相澤 清香	岡山大学 大学院 自然科学 研究科	食事にリズムを与え肥満を防ぐ摂食制御ホルモンの研究	1,000
2 アキヤマ 秋山 みどり	東京大学 大学院工学系研究 科	創薬向け新規ビルディングブロックの開発を指向した多フッ素化キュバン化合物の合成	1,000
3 アベ ヒロキ 阿部 秀樹	日本女子大学 理学部 物質 生物科学科	女性ホルモン調整剤の開発を志向したイリドイド配糖体の合成研究	1,000
4 イハシ アキラ 五十里 彰	岐阜薬科大学 生命薬学大講 座生化学研究室	細胞間タイト結合を起点とした皮膚老化メカニズムの解明とアンチエイジング剤の探索	1,000
5 イワカ ジン 市川 純	福岡大学 医学部 生理学教 室	慢性腎不全進行の抑制を目的とした腎系球体ポドサイトの機械刺激受容機構の解明	1,000
6 イハシ サオヒト 伊藤 佐生智	名古屋市立大学大学院 薬学 研究科 衛生科学分野	皮膚の健康を乱す異常な免疫細胞活性化作用を有する黄色ブドウ球菌毒素の探索	1,000
7 イハシ ヒロユキ 伊藤 栄紘	東京工業大学 生命理工学院	細胞内酸素濃度の絶体量測定可能な新規リン光性色素の開発	1,000
8 イシイ カツ 大石 勝隆	産業技術総合研究所 細胞分 子工学研究部門	体内時計機能および睡眠に及ぼす糖化ストレスの影響	1,000
9 イムラ ヒロコ 岡村 裕彦	岡山大学 大学院医歯薬学総 合研究科 口腔組織学	歯周病菌が放出する「細胞外小胞」の胎盤への移行と胎児成長発育への影響	1,000
10 イワサキ キョウシロウ 川上 恭司郎	東京都健康長寿医療センター研 究所 老化機構研究チーム・プロ テオーム	血中エクソソームによる診断を目指した組織特異的エクソソーム精製法の確立	1,000
11 イグチ コウジ 菊池 浩二	熊本大学 大学院生命科学研 究部(医)・細胞情報薬理学講 座	骨組織を作り出す新たな細胞極性形成メカニズムの解明	1,000

12	ゴヤマ ススム 合山 進	東京大学 新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻	ヒトクローン性造血を再現するin vitroモデルの構築と予防法の開発	1,000
13	コバヤシ タスケ 小林 泰輔	高知大学 医学部附属光線医療センター	真珠腫の外科切除における術中光線力学診断の開発	1,000
14	コハラ コト 古村 眞	東京大学大学院 医学系研究科 組織幹細胞・生命歯科学講座	移植鋳型を被包化する未分化組織体による自律再生メカニズム解明研究	1,000
15	サライ アキラ 佐藤 伸	岡山大学 異分野融合先端研究コア	瘢痕を残さない皮膚再生メカニズム	1,000
16	シロ マサキ 嶋 直樹	産業技術総合研究所 細胞分子工学研究部門	タンパク質合成系が酸化ストレス耐性を獲得する仕組みの理解	1,000
17	シバ サチ 柴田 紗知	福山大学 薬学部	変形性関節症と骨粗鬆症の予防効果を有する食品機能成分による関節リウマチ予防効果の解明	1,000
18	シバ ヒロキ 柴田 秀樹	名古屋大学 大学院 生命農学研究科	線維性コラーゲンの分泌機構の解明とその制御を目指す基礎研究	1,000
19	タカハシ ヒロ 高橋 弘雄	香川大学 医学部分子神経生物学	脳の神経保護機構を支える分子基盤: 転写因子 Npas4の解析	1,000
20	タカヤキ ユキ 高柳 友紀	自治医科大学 医学部生理学講座神経脳生理学部門	ストレスレジリエンスの獲得・強化に関わる神経基盤の解明	1,000
21	タシロ ヨシサ 滝沢 由政	東京大学 定量生命科学研究所	ネイティブDNA配列を用いた高次セントロメア構造の解明	1,000
22	タケタ ケイジ 竹下 大二郎	産業技術総合研究所 バイomedical研究部門	ウイルスRNAとヒト自然免疫の分子攻防の構造基盤	1,000
23	デヤマ カン 出山 諭司	金沢大学 医薬保健研究域薬学系	抑うつ状態からの自発的回復における脳内GPR18シグナルの役割	1,000
24	ナカウラ カシ 中倉 敬	帝京大学 医学部 解剖学講座	下垂体毛細血管の孔構築を調節する基底膜由来因子の同定とその分子機序の解明	1,000
25	ナカヤ ミチ 仲矢 道雄	九州大学 大学院 薬学研究科 薬効安全性学分野	筋線維芽細胞から分泌される線維化促進分子の機能解析	1,000
26	ニシ リョウ 西 良太郎	東京工科大学 応用生物学部	核内アクチン-ミオシンを介した特異的相同組換え修復機構の解明に基づく抗がん剤の創出	1,000
27	ニシカワ コト 西塚 誠	弘前大学 農学生命科学部 食料資源学科	脂肪細胞分化制御因子fad104によるメラニン生成抑制機構の解明	1,000
28	ハガ ユキ 芳賀 淑美	(公財)がん研究会 プロテオミクス解析グループ	網羅的O型タンパク質分析法を用いた大腸がん治療標的の探索	1,000
29	ハヤカワ 勇 早河 翼	東京大学 大学院医学系研究科消化器内科	スキルス胃癌の予後改善を目指した新規内皮細胞標的治療と機序解析	1,000
30	ヒラサワ カシ 平沢 敬	東京工業大学 生命理工学院	進化工学によるメチルトランスフェラーゼ反応フラックスの強化と抗酸化能を持つエルゴチオネインの微生物発酵生産系への応用	1,000
31	ヒラノ ミナ 平野 美奈子	光産業創成大学院大学 光産業創成研究科	光活性化タンパク質を利用した嗅覚に関するイオンチャネルの活性化機構の解明	1,000

32	フカ 福中 彩子	群馬大学 生体調節研究所	「ミネラルはどのように肥満に関与するのか？」垂鉛シグナルから追求する肥満の制御	1,000
33	ホド 堀家 シン一	金沢大学 学際科学実験センター	オキシトシン受容体のエピゲノム制御による調和のとれた社会性発達メカニズムの解明	1,000
34	マダ 前田 イシジロ 英次郎	名古屋大学 大学院 工学研究科機械システム工学専攻	ヒト腱再生を目指した高再生能動物イモリの腱再生基本原理の解明	1,000
35	ミナグチ 水口 ヒロキ 裕之	大阪大学 大学院薬学研究科	同一個人に由来する腸管組織、ヒト腸管オルガノイド、iPS細胞由来腸管上皮細胞の機能性評価と革新的創薬基盤技術開発	1,000
36	ミノ 水野 トシサ 稔久	名古屋工業大学 大学院 工学専攻生命・応用化学系プログラム	抗菌性ペプチド界面活性剤の非リボソームペプチド合成系の確立	1,000
37	ミノ 水野 マサシ 雅史	神戸大学 大学院農学研究科	食品成分の食べ合わせによるアレルギー抑制の相乗効果	1,000
38	アヲ 姚 シン 関	北海道大学 大学院 先端生命科学研究院 先端融合科学研究部門	新素材を用いた、量子構造生物学の基盤技術としてのタンパク質大型結晶作製法の開発	1,000
39	ヤマガタ 柳田 ヤコ 保子	東京工業大学 科学技術創成研究院	マイクロ流路による細胞接着力評価システムの作製と酸化ストレス検証への応用	1,000
40	ヤマグチ 山口 マサヒロ 正洋	高知大学 教育研究部医療学系基礎医学部門	嗅覚刺激と代謝シグナルに基づく摂食障害の治療法の開発	1,000
41	ヤマザキ 山崎 カシ 孝	東京農工大学 大学院 工学研究院 応用化学部門	含フッ素トレオニンならびにアロトレオニンの立体分岐型合成反応の開発とその利用	1,000
42	ヤマモト 山本 リウ 玲	京都大学 高等研究院 ヒト生物学高等研究拠点	血液の幹細胞の『若返り』現象の解明	1,000
43	リ 李 マサチ 昌一	神奈川歯科大学	電子スピン共鳴(ESR)抗酸化能評価による健康長寿抗酸化素材の探索	1,000
44	カ 和賀 ショウ 祥	日本女子大学 理学部 物質生物科学科	ヒトORCのグアニン四重鎖結合と液相分離の生理的意義	1,000

(4) 昨年、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、都道府県に緊急事態宣言が出され、各大学が自宅待機や在宅勤務になり年次報告書(第4次提出書類)の提出が遅れました。今回も新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、2020年度(事業年度2019年)研究助成金交付先に研究成果報告書(第4次提出書類)を2021年3月下旬に発送する際に、研究成果報告書の提出期限を2021年10月末までとし、研究成果報告書の書面とデータの両方を提出頂くことを記載しました。

今後もこのような状況になった場合は、臨機応変に対応します。

4. 評議員会・理事会・選考委員会の状況

①評議員会

開催日	会議のテーマ(決議事項、報告事項)	定員	出席	結果
2020年7月3日	<p>(決議事項) 1.第8期(2019年度)決算書類の承認 2.評議員4名選任の件 (候補者) 知野秀雄氏 石川和則氏 岩崎泰一氏、古俣徳康氏 3.理事4名選任の件 (候補者) 大倉一郎氏、小柳典子氏 加藤信子氏、西口徹氏 4.監事1名選任の件 (候補者) 宮崎一成氏</p> <p>(報告事項) 1.2020年度研究助成金交付実績の報告 2.2020年度事業計画と収支予算の報告 3.2021年度研究助成金募集実施の報告 4.研究助成業績報告集(2018年)の報告</p>	4名	4名	承認

②理事会

開催日	会議のテーマ(決議事項、報告事項)	定員	出席	結果
2020年6月17日	<p>(決議事項) 1.2019年度決算報告書(案)の承認の件 2.2020年度定時評議員会の日程と議案の件</p> <p>(報告事項) 1.理事長の職務執行の報告(2020年3月～5月) 2.2020年度情報公開実施の報告 3.2021年度研究助成金の公募開始の報告</p>	4名	4名	承認
2020年7月3日	<p>(決議事項) 1.代表理事の選任の件</p>	4名	4名	承認
2020年9月23日	<p>(決議事項) 1.2021年度研究助成金の交付先44件の承認の件 2.2020年度研究助成金交付先期間延長の件 3.リモートワーク用のパソコン購入の件 4.社・本郷税理士法人との顧問契約書締結の件</p> <p>(報告事項) 1.理事長の職務執行の報告(2020年6月～8月) 2.2019年度決算公告の実施の報告 3.内閣府提出書類の状況報告 4.内閣府立入検査の報告</p>	4名	4名	承認
2020年12月2日	<p>(決議事項) 1.選考委員の選任の件 2.謝金規程変更の件</p> <p>(報告事項) 1.理事長の職務執行状況報告(2020年9月～11月) 2.内閣府立入検査の報告</p>	4名	4名	承認
2021年3月10日	<p>(決議事項) 1.2021年度事業計画(案)の承認の件 2.2021年度収支予算(案)の承認の件 3.2022年度研究助成金の募集要項等書類の承認の件 4.2020年度決算スケジュールと2021年度理事会日程の承認の件 5.小柳財団のパンフレット作成の件 6.2020年に交付された助成金の研究期間の延長について</p> <p>(報告事項) 1.理事長職務執行報告(2020年12月～2020年2月) 2.2021年度研究助成金の交付実施の報告 3.2021年公開予定情報の報告 4.2021年2月5日(金)の選考委員会の開催中止について</p>	4名	4名	承認

③選考委員会

開催日	会議のテーマ(議案等)	定員	出席	結果
2020年9月23日	1.2021年度研究助成金の応募案件の採択 (個々の採点をまとめ、採点順に上位44件を全員で吟味し決定) 欠席選考委員 三原選考委員 1名	6名	5名	決定
2021年2月15日	※ 書面による決議 1.2022年度研究助成金募集要項等書類の決定 2.選考委員長の選出(任期満了に伴う選出) 3.2021年度選考委員会のスケジュールの決定 4.第一次仕分け担当選考委員2名の選出 5.生物系、化学系の採点担当選考委員の選出	6名	6名	決定

5. 役員及び選考委員情報

2021年4月30日現在

役員情報		
財団役職	氏名	勤務形態
評議員	知野 秀雄	非常勤
	石川 和則	非常勤
	岩崎 泰一	非常勤
	古俣 徳康	非常勤
代表理事	大倉 一郎	非常勤
理事	加藤 信子	非常勤
	小柳 典子	非常勤
	西口 徹	非常勤
監事	宮崎 一成	非常勤

2021年4月30日現在

選考委員情報		
財団役職	氏名	勤務形態
選考委員長	小澤 俊彦	非常勤
選考委員	大倉 一郎	非常勤
	加藤 信子	非常勤
	上村 みどり	非常勤
	畑中 研一	非常勤
	三原 久和	非常勤

以上

第9期(2020年度)事業報告の附属明細書
2020年5月1日から2021年4月30日まで

第9期(2020年度)事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2021年6月8日
公益財団法人小柳財団